

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 まつら会 児童発達支援センター くれよん		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	※環境・体制整備 活動に必要な場所については、子ども達が安心してご利用頂けるように広く設計しております。	色々な活動が行えるように、本棚などを一か所に集約し、遊戯室全体を広く使えるようにしています。また、遊戯室左右の壁に折れ戸式ドアを設置し、テラスと遊戯室との段差をなくすことで広い空間を確保し、活動の場所として活用しています。	
2	※適切な支援の提供 保護者様・保育園・幼稚園・関係機関・施設職員と4者で連携してご本人の支援に当たっております。	保護者様とは、ノートでの情報共有を行い、必要に応じて電話や面談を行っています。保育園・幼稚園様とは、連絡ノートでの情報共有に加え、園訪問を行い保育・教育の様子見学をし、その後、情報共有の場を設けて統一した保育・教育・支援が出来るようしています。今後も継続していきたいと思っております。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	※保護者への説明等 父母会を活動は行っていなかった。きょうだいに対する支援不足だった。	集まる機会が持てなかった。	令和7年に保護者様に集まれる場(交流会・勉強会など)を設けるように検討を行います。 きょうだい支援について検討し、何が現状で出来るのかを検討した上で、出来る所から始めたい。
2	※非常時等の対応 各種マニュアルを作成し、玄関に設置しているが知らない保護者様がおられた。	玄関に設置しているが、周知をしていなかった。設置場所が分かりにくかった	各種マニュアルの設置場所を検討し直し、誰の目にも入る場所へ設置する。その際に設置している事が分かる看板などを貼りようにします。各種マニュアルの表紙を見やすい文字の大きなフォントで書くようにします。
3	※非常時等の対応 避難訓練を毎月行っているが、保護者様が知らない方がいた。	毎月の行事予定表に記載したり、避難訓練に参加した際に、個々の連絡ノートに記載しているが伝え方が分かりづらかった。	行事予定だけではなく、個々に渡す利用予定表にも記載する。学園だよりに避難訓練に参加した記事を投稿する。定期的に活動写真を撮り、保護者様に渡すしているので、避難訓練に参加した際に、避難訓練の写真も渡す。など、複数の案を検討し実施する。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 まつら会 児童発達支援センター くれよん		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	※保護者への説明等 保護者様が迎えに来所された際に、自宅での様子を聞くことで、子ども達の変化に気付く機会が多く取れている。	利用日ではない時の様子を聞くことで、子ども達の小さな変化を見逃すことなく、日々の支援に活かす事ができ、自宅での対応の仕方などの方法を保護者様と検討して、その日からでも対応を変えて行うことが出来ます。保護者が相談したいことがある時には、すぐに対応出来るようにしています。	
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	※適切な支援の提供 放課後児童クラブや児童館や、地域の子どもと活動する機会がなかった。		令和7年に交流が持てるように検討を行います。 施設の行事(まつら祭など)に地域の子ども達に来所してもらい、交流できる場を設けられるようにしたい。
2	※保護者への説明等 父母会を活動は行っていなかった。きょうだいに対する支援不足だった。		令和7年に保護者様に集まれる場(交流会・勉強会など)を設けるように検討を行います。 きょうだい支援について検討し、何が現状で出来るのかを検討した上で、出来る所から始めたい。
3	※保護者への説明等 家族プログラム(ペアレント・トレーニング等)や保護者研修などの周知不足だった。	ペアレントプログラムは、行っているが周知の仕方が良くなかった。その他、保護者研修は行っていない。	令和7年度もペアレントプログラムは実施予定なので、全ての保護者へチラシの配布と施設玄関にポスターを貼るなど分かりやすい周知方法を検討して実行する。 その他の保護者向けの研修については、何が出来るか考え、令和7年に実施できるように検討を行う。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人まつら会		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	話をじっくりと聞くこと。 子どもの行動を観察し、集団や療育場面での適応を支援します。	分かりやすく伝えるように表現している。 日常的に子どもと接する指導員への伝え方。	
2	10年以上の療育の経験がある支援員がいる。 集団環境で支援を行うため、子どもの発達課題を早期に発見します。	経験から言えることを伝えている。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の都合に合わせてにくい。 共感、協力を得るのは簡単ではない。	訪問支援員の不足。 事業所、訪問先、保護者との連携が必要なため、調整に手間がかかることがある。	配置人数は今後も変わらない。
2		情報共有を行う時間が短い。	必要に応じて次回訪問時に課題や配慮が必要と思われる内容について文章で伝える。
3			